

自助・共助防災学習センターで 防災意識を高めよう!

問合せ 危機管理課危機防災G ☎55-9594

僕たちが
行ってきたよ!



今年3月20日(土・祝)にオープンした「自助・共助防災学習センター」は、どなたでも気軽に利用できる防災・減災学習施設です。テントや段ボールベッドなど避難生活で使用する物品や災害時の写真パネルを展示しているほか、防災学習に役立つ書籍や映像も用意しています。

開館時間 午前9時～午後5時

利用料 無料

休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)、
年末年始(12月29日～1月3日)

利用人数 制限はありませんが、密を避けるため
15人程度での利用を推奨します。



家の模型を実際に揺らして耐震構造のしくみを学んだよ。他にも色々な実験機器があったよ。



本物の災害用品が展示されていたよ。使い方を知っておくと安心だね。



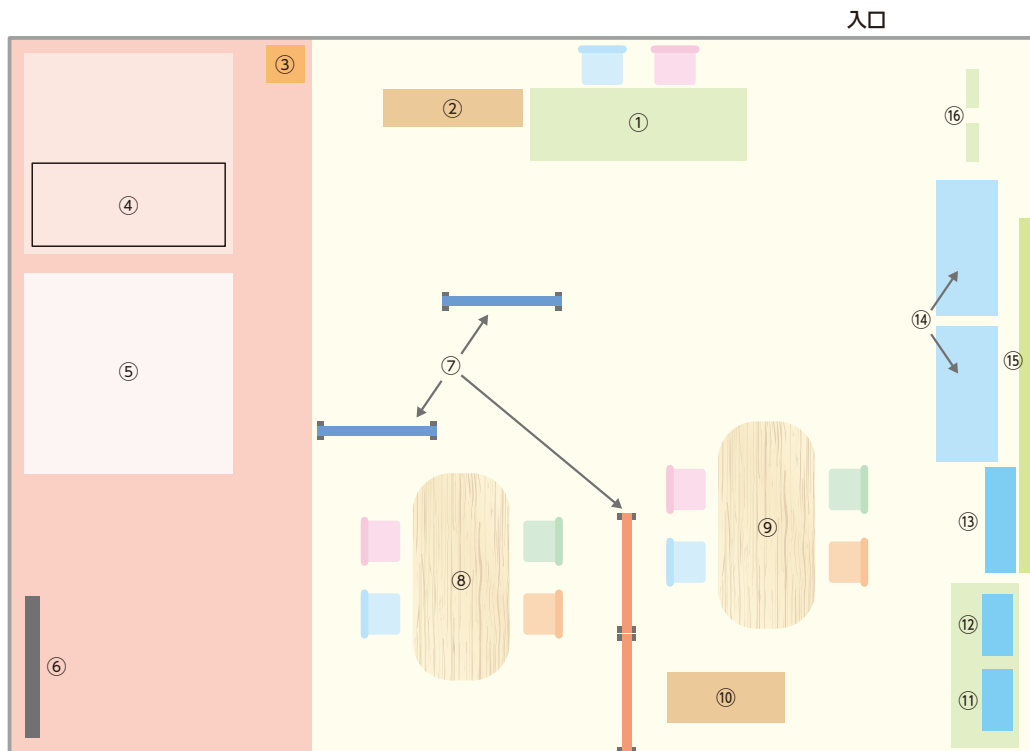
避難用持ち出し袋に入れる物って、こんなにあるのね。用意しなきゃ!



施設案内



- ① カウンター
- ② 家具転倒防止啓発品
- ③ 簡易トイレ
- ④ 段ボールベッド・間仕切り
- ⑤ 避難用テント
- ⑥ 防災学習映像
- ⑦ 写真等掲示用パネル
- ⑧ 書籍閲覧コーナー
- ⑨ 学習コーナー
- ⑩ 木製ぶるる
(木造建物地震実験器)
- ⑪ 液状化現象実験器
- ⑫ 地震発生実験器
- ⑬ 津波発生モデル実験器
- ⑭ ショーケース(備蓄品等)
- ⑮ ハザードマップ
- ⑯ パンフレット等用ラック



3月20日に津島市生涯学習センターでオープニングセレモニーが行われました。オープニングセレモニー開催にあたり、福和伸夫氏(名古屋大学減災連携研究センター長)・片田敏孝氏(東京大学大学院情報学環特任教授)両教授によるビデオメッセージをいただき、現在センター内モニターにて放映しています。

知りたい! 防災のあれこれ

最後に、つし丸、マッキー、ふじかが津島市の危機管理課の担当者に防災のことについて質問してきたよ。

Q.自助・共助ってなあに?



A.自助とは、災害が発生したときに、自分自身や家族の身の安全を守ることです。具体的には、家具の転倒防止や住宅の耐震化、水や食糧の家庭での備蓄になります。共助とは、地域の方々が、日ごろから近隣の方々と顔見知りの関係になり、災害発生時には協力して助け合うことです。

Q.住んでいる地域の危険箇所が知りたいな。



A.津島市防災ハザードマップをご覧ください。ハザードマップには、木曾川等の想定浸水深や南海トラフ地震の際の津波浸水マップ等が記載されています。突然の災害時に避難先や避難ルートを確認をしても間に合いません。日ごろから定期的にハザードマップを見ておき、避難所の位置や安全な避難ルートの確認などに活用しましょう。

Q.普段、災害にどうやって備えたら良いのだろう。

A.突然の災害に備えるために、飲料水(1人1日3リットルが目安)や保存がきく食品を7日分ほど備蓄するようにしましょう。また、家具転倒防止や住宅の耐震化、災害時の家族との連絡方法の確認、避難所の位置や避難経路の確認を行うようにしましょう。

Q.コロナ禍での避難生活では、

どのようなことに気を付けたら良いのかな。



A.避難所に避難する際には、マスクの着用、アルコール消毒液・体温計の持参をお願いします。避難所で生活する際には、他人と2mほど距離をとることや、密接した状態・飲食時の会話は避けるなどの対応をお願いします。また、毎日体温や健康状態をチェックし、異変があれば避難所職員に声をかけてください。